

情報を組織力に変え、粘り強い企業経営へ



IBM コックピット・ソリューション



「見える化」のその先へ。IBMのコックピット・ソリューションで、経営の舵取りを、より正確に、よりダイナミックに。

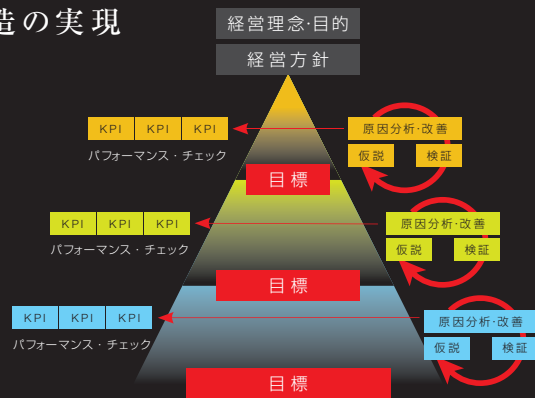
企業が直面する課題に対応していくためには、その解決に必要な情報の「見える化」が不可欠です。ただし、単に「見える化」するだけでは真の変革は望めません。企業の持続的成長を可能にするのは、達成すべき目標と現状のギャップを分析し、各々の立場で打ち手を考え、結果を評価して次の一手につなげるというマネジメント・サイクルです。IBMのコックピット・ソリューションは、経営が目標としている指標 (KPI) を全社レベルで関連付け、体系化した上で、その達成状況をタイムリーに把握する仕組みを提供。これにより、マネジメント・サイクルを組織全体に定着させ、継続的な改善の文化を醸成します。

■ 見える化へのニーズ

経営上の意思決定は経営者の重要な役割の1つですが、管理者や現場の担当者もまた、さまざまなビジネスシーンで業務上の重要な判断を求められます。どこを目指せばよいのか、現状に何が足りないのかといった情報が見えない限り、個人も組織も前には進めません。

■ 体系化されたKPI構造の実現

企業の“あるべき姿”に向けて、全社一丸となって取り組むためには、経営戦略を「見える化」し、等価性を持って組織の隅々にまで伝達する手段が必要です。IBMが提供する全社レベルで体系化されたKPI構造は、経営から現場までをつなぐ共通言語として機能します。



■ KPIの達成状況のモニタリング




戦略と実行結果のギャップを把握することが、改善への第一歩となります。そのためには、設定したKPIに対するパフォーマンスを継続的かつタイムリーにモニタリングし、評価する仕組みが必要です。IBMは、経営者層から現場レベルまでの可視化システムを実現します。

■ IBM コックピット・ソリューション

IBM コックピット・ソリューションは、ERPをはじめとする基幹業務システムのデータを有効活用し、グローバル会計およびグローバル・ロジスティクスのデータを速報ベースで可視化するソリューション・テンプレートです。標準的なKPIを幅広くカバーしており、テンプレートをベースに企業固有のKPIやレポートを容易に組み込むこともできます。あらかじめ必要な機能を備えた高品質なテンプレートの活用により、企業は経営情報の見える化を失敗なく、早期に実現できるのがメリットです。

また、経営者層、管理者層、現場の担当者向けの3つのテンプレートがあり、これらを組み合わせることで、経営戦略をトップから現場レベルへと展開し、現場からの生きた実績情報に基づいて経営判断が行える仕組みが完成します。



課題	現状	IBM コックピット・ソリューション
 経営者 常に先を見越したスマートな経営への転換	<ul style="list-style-type: none"> 戦略に関する経営トップ間の合意が形成しにくい 戦略と実行結果のギャップが把握できない なかなか現場レベルに経営戦略が浸透しない ERPを導入しても成果が見えてこない 	エグゼクティブ・コックピット 経営情報をビジュアルに可視化し、攻めのグローバル経営を支援します。 ▶ P4
 管理者 情報の戦略的活用によるリーダーシップの発揮	<ul style="list-style-type: none"> 経営トップ向けのレポートがすぐに作成できない 年次予算と中期経営計画に不整合がある 経営戦略を現場レベルにどう展開すべきかわからない 現場から問題の報告が上がってくるまで気付かない 	ビジネス・アナリティクス・コックピット 企業活動に関する詳細な分析データを提供し、戦略の実行を支援します。 ▶ P5
 現場担当者 目標達成に向けた自律的な改善活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> 経営戦略や経営目標を正しく理解していない 問題解決に多くの時間や手間を要する タイムリーに実績を確認する仕組みがない 情報量が多く業務にどう活用すればよいかわからない 	ビジネス・アナリティクス・コックピット for General User 多様な切り口から業務に直結した情報を提供し、現場レベルの戦略を支援します。 ▶ P6

エグゼクティブ・コックピット

生きた情報と経営者の頭脳をつなぎ

変化に対応するしなやかな経営をサポート

経営者層向けソリューション・テンプレートとして提供されるエグゼクティブ・コックピットは、世界中に散らばる各拠点の基幹業務システムから最新の実績データを取得し、一目でわかりやすいグラフ形式で表示します。多忙を極める経営者層が直感的に使えるように、RIA(リッチ・インターネット・アプリケーション)技術を駆使し、表現力と操作性に優れたユーザー・インターフェースを実現。操作説明やトレーニングを一切必要とせず、グローバル連結、地域・拠点別、事業部別などの多様な切り口から、見たい情報にすぐ手が届く環境を整えます。

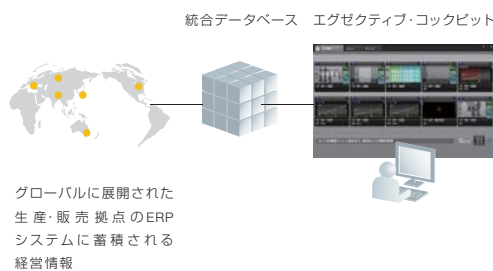
導入効果

- 各拠点のデータの集計から、分析、加工までのプロセスを自動化
- マウス・クリックによる簡単な基本操作のみで必要な情報に素早くアクセス
- 現状把握が困難な紙の資料を排除し、短時間でグローバルの経営状況を正確に把握
- 問題の早期発見と早期解決を可能にし、経営スピードを大幅に向上
- 経営と現場の距離感を縮め、適切な監視により現場の緊張感を維持



大画面でグローバル経営の“今”をリアルにキャッチ

エグゼクティブ・コックピットのビジュアルなレポート画面を、社長室や役員室などに設置された大型ディスプレイに常に表示しておきます。これなら、打ち合わせをしながら、パソコンでメールをチェックしながら、いつでもグローバルの経営状況を直感的に把握することができ、必要に応じて迅速かつ確かな経営判断が行えます。グローバルの生産・販売・在庫などの実績データを日次で集計し、出社した経営者に「朝刊」として届けるといった使い方も可能です。



ビジネス・アナリティクス・コックピット

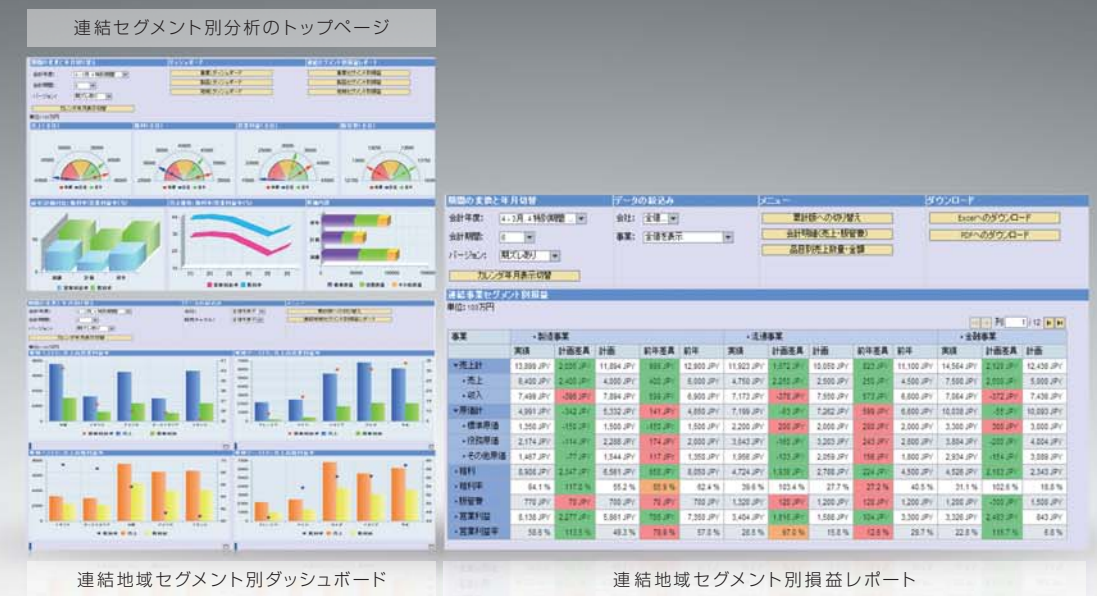
多角的な視点から企業活動の現状を分析し

企業の“あるべき姿”に向けた変革をリード

管理者層向けソリューション・テンプレートとして提供されるビジネス・アナリティクス・コックピットは、ERPをはじめとする基幹業務システムからグローバル会計およびグローバル・ロジスティクスのデータを収集し、加工・集計。操作性とデザイン性に優れたWebベースのレポートに表示します。管理者としての意思決定に必要な情報をグラフィカルに表現することで、企業活動の動きが一目瞭然。アラート機能が問題点に気付きを与えてくれるだけでなく、明細レベルで詳細情報を追跡し、原因究明に役立てることも可能です。

導入効果

- ERPなどの基幹業務システムに蓄積された情報の有効活用を促進
- 経営者層に対してERPの導入効果を見える化
- 明確な経営指標を核に、中期経営計画と年次予算の一体運用を実現
- 経営資料の作成にかかっていた時間を組織戦略の策定と実行に集中
- 問題の兆候をいち早くキャッチし、現場への迅速な指示によりリスクを回避



テンプレートの情報提供構造

別途管理連結パッケージを導入することなく、管理連結における多次元分析が行えるのが特徴です。また、内部取引消去、期ズレ対応、多段階配賦、連結原価シミュレーション、グローバル・マスタ変換など、多彩な処理機能を標準で提供します。

種類	レポート機能	概要	適用領域
グローバル会計	連結セグメント別損益	事業・製品・地域別の管理連結ベースの損益分析を実現し、グループ全体の意思決定を支援	管理会計（連結）
	会計系KPI	財務上のKPIと財務諸表(BS/PL)により会社単体の経営状況の評価を支援	財務会計（単体）
グローバル・ロジスティクス	ロジスティクス系KPI	調達・生産・受注・出荷・在庫関連のKPIを日付別・各セグメント別に表示し、タイムリーな物流管理を支援	調達・生産 受注・出荷
	グローバル在庫管理	世界各地の拠点に存在する在庫を日付別にトラッキングし、グループ全体での在庫管理を支援	在庫

ビジネス・アナリティクス・コックピット for General User

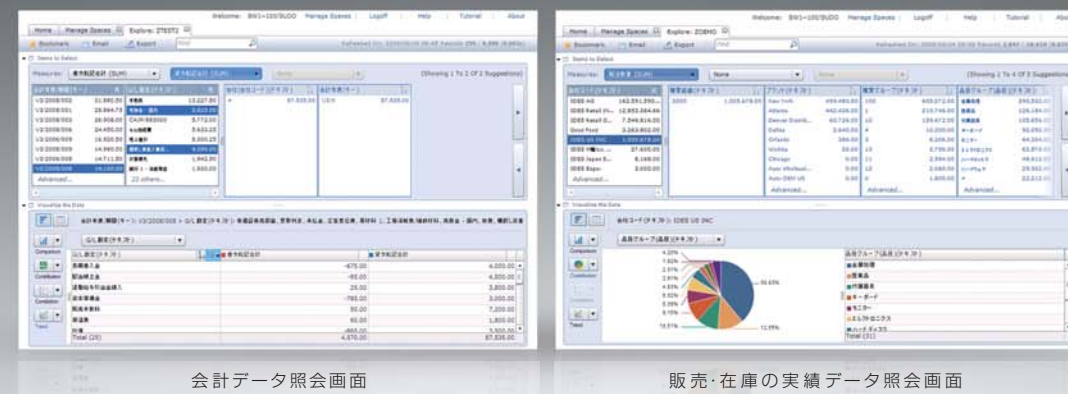
刻々と変化する情報を価値に変え

経営を支える現場力を企業の成長力へと転換

現場の担当者向けソリューション・テンプレートとして提供されるビジネス・アナリティクス・コックピット for General Userは、会計・販売・在庫・生産・管理連結といった業務において、経営指標と連動したさまざまな実績データをビジュアルに「見える化」し、業務上のニーズに応じてタイムリーに提供します。もはやビジネスインテリジェンスは、経営者だけのものではありません。経営目標を現場レベルで評価可能な指標に落とし込むことで、経営のベクトルと現場の担当者の意識を統一し、現場力を底上げすることができます。

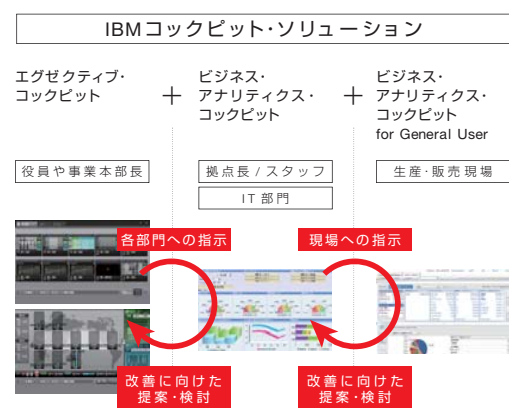
導入効果

- 情報が生み出す価値を理解することにより、その積極的活用を推進
- オペレーションの精度が高まり、業務の品質とスピードが向上
- 問題の早期発見を可能にすると同時に、業務に対する責任感と緊張感を醸成
- 経営目標や戦略を意識した自主的な改善への取り組みが加速
- 勘や経験への依存から脱却し、正確な情報に基づく的確な判断でリスクを回避



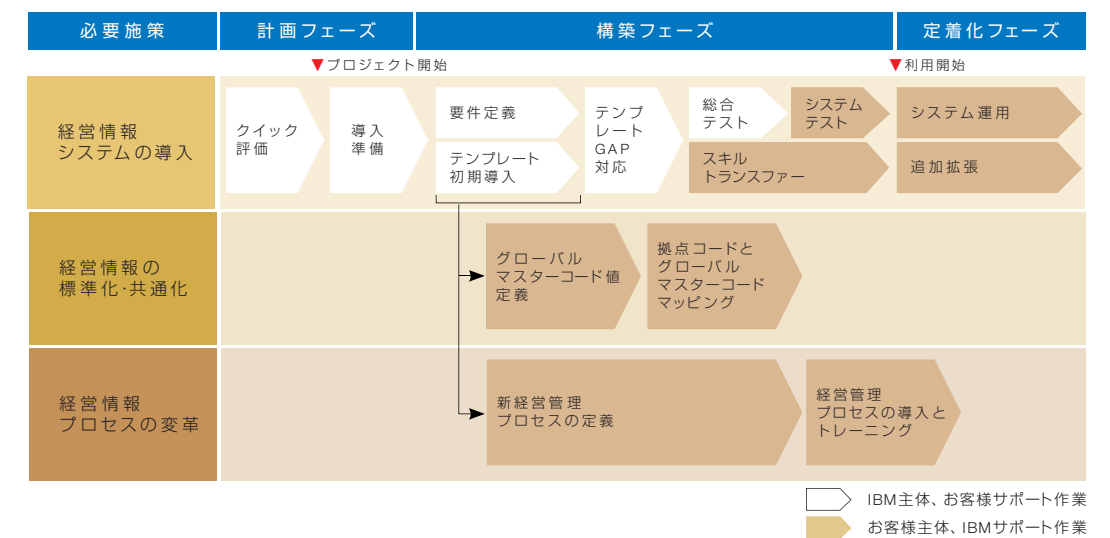
経営力と現場力を一体化するコックピット・ソリューションが完成

経営から現場まで、組織全体に企業のあるべき姿を浸透させ、各々の立場で次の一手を考える企業文化をつくり出すためには、今あるデータから、経営者層、管理者層、現場の担当者がそれぞれに必要としている情報を同じベクトルに沿って抽出し、素早く提供する仕組みが必要です。これこそがIBMコックピット・ソリューションの目指す姿であり、エグゼクティブ・コックピット、ビジネス・アナリティクス・コックピット、ビジネス・アナリティクス・コックピット for General Userの3つの組み合わせが有効となります。全社レベルで体系化されたKPIが戦略部隊と実行部隊をつなぎ、粘り強く改善に取り組む力を生み出し、企業を強くします。



豊富な経験に培われた実績ある方法論で 失敗のない「見える化プロジェクト」を実現

経営に有用な「見える化」の実現においては、「経営情報システムの導入」「経営情報の標準化・共通化」「経営管理プロセスの変革」の3つを総合的に推進することが重要です。しかし、これらを同時に進行させることは難しく、プロジェクトの長期化は避けられません。その間にビジネス状況や経済動向が変化してしまい、当初の構想の変更を迫られ、プロジェクトの遅延、コストの増大といったリスクが発生します。IBMコックピット・ソリューションなら、テンプレートの導入と並行で「経営情報の標準化・共通化」および「経営管理プロセスの変革」を実施することができ、結果として高品質な分析システムの構築を低コストかつ短期間で成功へと導くことができます。



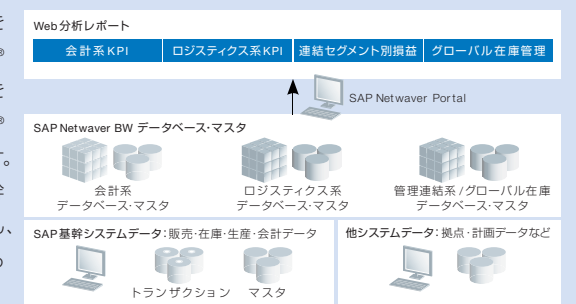
経営情報システムの導入：一定品質を確保したテンプレートの導入と、お客様固有部分の追加拡張を実施（レポート関連の拡張はお客様主体で実施）。
 経営情報の標準化・共通化：テンプレートが持つデータ変換機能により、各社マスタの標準化・共通化をシステムが吸収。
 経営管理プロセスの変革：テンプレートをベースに、自社の経営管理プロセスを定義。

さらにお客様の要件に応じた迅速な対応が可能

- ・業務改革や組織改革の豊富なプロジェクト経験、高い技術力を有する戦略コンサルタントが支援
- ・テンプレートをベースに業務施策とシステム施策を並行して実施
- ・ハードウェアからソフトウェア、コンサルティングまでをワンストップで提供可能
- ・日本IBM内に設置した「BWAソリューション・センター」においてデモ、検証環境を提供し、システムの早期稼働を支援

既存環境を有効活用した柔軟なシステム構築

IBMコックピット・ソリューションは、膨大な情報を高速かつ定期的に検索・分析できるSAP NetWeaver® Business Warehouse Acceleratorを中核に、情報を瞬時に検索、活用することを可能にするSAP® Business Objects™ Explorerを使用した製品です。ただし、SAP導入企業に限定されず、あらゆる基幹業務システムとの連携が可能で、もちろん、複数拠点でそれぞれ異なるシステムを運用しているケースにも容易に対応します。





■ テンプレートで標準提供される分析メニュー一覧

連結セグメント別損益

連結事業セグメント別損益	連結製品セグメント別損益	連結地域セグメント別損益
ダッシュボード:事業 (営業利益率・粗利益率)	ダッシュボード:製品 (粗利益率・売上数量前年比)	ダッシュボード:地域 (営業利益率・粗利益率)
事業セグメント別損益レポート (単月・累計)	製品セグメント別損益レポート (単月・累計)	地域セグメント別損益レポート (単月・累計)

会計系

企業経営分析 ROE分析 株主資本当期純利益率 負債比率 総資産回転率 ROA分析 総資産営業利益率 売上高営業利益率 総資産回転率	収益性分析 売上高費用対比 売上高材料費比率 売上高労務費比率 売上高経費比率 売上高販管費比率 売上高利益対比 売上高当期純利益率 売上高経常利益率 売上高営業利益率 売上高総利益率
財務諸表 貸借対照表 貸借対照表 損益計算書(部門別) 部門別損益計算書(予実対比) 部門別損益計算書(月次推移)	財務比率分析 効率性分析 総資産回転率 売上債権回転率 棚卸資産回転率 有形固定資産回転率 流動性分析 流動比率 当座比率 売上高運転資本比率 成長性分析 売上高成長率 売上高流動資産比率 売上高留保利益比率 流動資産留保利益率 損益分岐点分析 損益分岐点比率 売上高貢献利益率 変動費率 固定費率

ロジスティクス系

受注管理 受注数量(単月・累計) 受注金額(単月・累計) 受注リードタイム	出荷管理 出荷数量(単月・累計) 出荷金額(単月・累計) 納期遵守率	調達管理 調達数量(単月・累計) 調達金額(単月・累計) 調達リードタイム
在庫管理 在庫金額 在庫数量 在庫回転率	生産管理 製造リードタイム 製造歩留まり	

グローバル在庫管理

グローバル在庫管理 (品目別/拠点別/ロット別) 在庫金額 在庫数量 積送中在庫金額 積送中在庫数量 在庫推移レポート 積送品ステータス管理 受払履歴管理
--

日本アイビーエム株式会社

〒103-8510 東京都中央区日本橋箱崎町19-21
10-09 Printed in Japan

IBM、IBMロゴ、ibm.comは、世界の多くの国で登録された International Business Machines Corp.の商標です。SAP、SAP NetWeaverは、ドイツおよびその他の国における SAP AGの商標または登録商標です。Business Objectsは、SAPのグループ企業である Business Objects S.A.の登録商標です。他の製品名およびサービス名等は、それぞれIBMまたは各社の商標である場合があります。

このカタログの情報は2009年10月現在のものです。内容は事前の予告なしに変更する場合があります。表示画面および印刷帳票の出力例のうち、特に断わり書きのない出力例のデータ部分はすべて架空のものです。画面ははめ込み合成で実際の表示とは異なります。製品、サービスなど詳細については、弊社もしくはIBMビジネス・パートナーの営業担当員にご相談ください。

詳細情報

コックピット・ソリューションの詳細については、下記のWebサイトをご覧ください。

ibm.com/bacp/

お問い合わせは、IBMビジネス・パートナー、製品販売店、弊社営業担当員へ。